

2021年(令和3年)6月8日 火曜日



高橋 一郎氏(たかはし・いちろう)映画監督、元宝塚大教授)4日午後

4時10分、虚血性心疾患のため死去、67歳。神戸市須磨区出身。葬儀・告別式は近親者で済ませた。喪主は妻かね子(かねこ)さん。数々の社会派ドキュメンタリー作品を手掛け、新作「一人になる」医師小笠原登とハンセン病強制隔離政策」が公開されたばかりだった。

毎 日 新 聞

2021年(令和3年)6月9日(水) 三田 阪神

兵 庫



高橋 一郎さん67歳(たかはし・いちろう)映画監督)4日、心筋梗

塞(こうそく)のため死去。葬儀は近親者で営んだ。喪主は妻かね子(かねこ)さん。ハンセン病患者に寄り添う治療を続けた医師を描いた映画「一人になる」の完成を記念するシンポジウム開催中、会場の大阪市内の映画館で倒れた。他に、核廃棄物の実態を追った「24000年の方舟(はこぶね)」、アトピー性皮膚炎を取り上げた「奇妙な出来事アトピー」など社会派ドキュメンタリーを製作した。

2021年(令和3年)6月8日(火曜日)

高橋 一郎氏 67歳(たかはし・いちろう)映画監督)4日、

虚血性心疾患で死去。告別式は親族で済ませた。喪主は妻、かね子さん。神戸市生まれ。ドキュメンタリー作品を手掛け、1991年に発表した「奇妙な出来事アトピー」で日本記録映画作家協会賞を受賞。宝塚大教授も務めた。今月4日、ハンセン病患者の隔離政策に異を唱えた医師の生涯に迫った新作「一人になる」のイベント中に倒れた。